

**福祉サービス第三者評価結果報告書**  
【児童福祉分野（保育所）】

**【受審施設・事業所情報】**

事業所名称	あけぼのベビーセンター		
運営法人名称	社会福祉法人 あけぼの事業福祉会		
福祉サービスの種別	保育所		
代表者氏名	理事長：安家 周一 / 施設長：越智 有貴子		
定員（利用人数）	45 名 (50名)		
事業所所在地	〒 560-0011 大阪府豊中市上野西4丁目5番62号		
電話番号	06 - 6857 - 2003		
FAX番号	06 - 6857 - 2086		
ホームページアドレス	<a href="http://akebono.ed.jp/babycenter">http://akebono.ed.jp/babycenter</a>		
電子メールアドレス	<a href="mailto:baby_principal@akebono.ed.jp">baby_principal@akebono.ed.jp</a>		
事業開始年月日	昭和 62 年 4 月 1 日		
職員・従業員数※	正規	21 名	非正規 9 名
専門職員※	保育士 18名 管理栄養士 1名 栄養士 1名 看護師 1名		
施設・設備の概要※	[居室]		
	[設備等] 保育室（0～2歳児）、一時保育室、調乳室、沐浴室、厨房、医務室、事務所、職員休憩室、園長室		

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

**【第三者評価の受審状況】**

受審回数	1 回
前回の受審時期	平成21 年度

**【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】**

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

## 【理念・基本方針】

人間教育の基礎は、大部分が乳幼児期に培われると考えます。この時期に十分に自己発揮できる環境で、のびやかに生活する事が大切です。「早く目標に到達させるのではなく、遠くまで自分の足で歩いていける力を身に付けること」を目標にしています。

また、家庭を離れて初めて集団生活を経験する子どもが、安心安定した生活が出来るよう家庭との連携を密にして出来る限り家庭と近い環境で保育することを心掛けています。

「ひとりひとりをしっかりと抱きとめ、受け入れてあげたい」そんな気持ちで毎日の保育にあたっています。

## 【施設・事業所の特徴的な取組】

①広々とした園庭・畑・果樹園の魅力を最大限に生かした日々の保育が構成されています。

・畑や果樹園では、実りのある樹木（柿・イチジク・ビワ・さくらんぼ・ザクロ・夏野菜など）を植え、子どもと共に育てて成長を喜び収穫する事で、食への関心・意欲に繋がっています。また、野菜が苦手だった子どもが、家でも少しずつ食べるようになりました。

・緑が多い事で、生き物（虫など）も多く、より自然と共存して生活が出来ています。

・園庭が広い事で、機能遊びや運動遊びが十分に展開でき、探検心の向上にも繋がっています。

②保護者対応を丁寧に行う事で、信頼関係も深まり園と家庭との連携が密に行えています。日常生活でも保護者からの協力を得る事ができ、共に育児を楽しむように取り組んでいます。

・保護者の悩みに寄り添ったり、個々に合わせた対応や支援ができています（日常の保護者対応の他、定期的に懇談会や親睦会を活用できています）。

・行事内容も子どもに無理なく取り入れる事ができ、その都度保護者の意見を聞き、取り入れるなど、保護者と協力して行事を組み立てています。

・布おむつを実践する事で、園だけでなく排泄の自立に向けての保護者の意識も高まり、個々にとって良い環境の中、排泄の自立が早くなる子どもが多いです。

③食事提供（給食）は、個々の様子や発達にあった食事提供ができています。

・基本、薄味で食材そのものの味を伝えている。旬の食材やできるだけ国産のものを多く取り入れています。

・食器にもこだわり、本物の陶器の良さを感じ取れるように使用しています。

・離乳食など保護者と相談しながら、個々にあった離乳食が提供できるように努力しています。

・懇談会などで、保護者から食に関しての悩みを相談する場を設け、情報共有や園での取り組みを知る機会となっています。

**【評価機関情報】**

第三者評価機関名	大阪府社会福祉協議会 総務企画部第三者評価室
大阪府認証番号	270002
評価実施期間	平成27年12月7日～平成28年2月29日
評価決定年月日	平成28年2月29日
評価調査者（役割）	1401C010（運営管理委員） 1001C023（専門職委員） （ ） （ ） （ ）

## 【総評】

### ◆評価機関総合コメント

社会福祉法人あけぼの事業福祉会 あけぼのベビーセンターは、1987年4月に0、1、2歳児対象の保育園として開設されました。阪急電車豊中駅から北へなだらかな坂道を登り、一戸建ての住宅が立ち並び落ち着いた一角に位置しています。民家を改装して造られた保育園で、保育室や調理室、トイレ等の配置にいろいろと工夫されています。

保育内容については、家庭を離れて初めて集団生活を経験する乳幼児の子どもたちが安心・安定した生活ができるよう、家庭との連携を密にして、できるかぎり家庭と近い環境で保育することを心掛けています。また、保護者対応を丁寧に行うことで信頼関係も深まり、多くの保護者が3歳児以上の保育についてもあけぼのベビーセンターで継続を希望しています。

### ◆特に評価の高い点

#### 限られた空間での保育環境づくりへの取り組み

子どもたちが、日々の生活のあそびを通して感性豊かに育つように、保育環境の工夫に取り組んでいます。園庭には、年間を通して四季を感じることで自然や、実りある樹木（柿・イチジク・ビワ・さくらんぼ・ざくろ等）が果樹園や畑に植えられています。これらの環境を通して、乳児期の子ども一人ひとりののびやかな生活が展開されています。

### ◆改善を求められる点

#### 保育サービスの質の向上を図るための組織としての意識向上と継続的な取り組み

今回の第三者評価の受審を機に施設長・主任保育士が法人の理念・保育方針の実現に向けて指導力を発揮し、職員の質の向上・保育園運営全般に関する評価・見直しに取り組むことが望まれます。

#### 保育課程及び指導計画の作成

保育課程は、地域の実態や子どもや家庭の状況などを考慮し、全職員参画のもとで編成することが望まれます。また、指導計画について、保育の質の向上を図るために、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)のPDCAサイクルを継続的に実施する事が望まれます。

### ◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審したことで、園の運営や保育全般について、全職員で振り返ることができました。その中で改めて園の良さや課題が明確になりました。保護者と連携しながら保育を進めてきたことが、園への大きな信頼に繋がっていることを保護者アンケートの結果から教えていただき、職員の大きな励みとなりました。今回の評価内容を真摯に受け止め、組織としての意識向上を目指し、一層努力してまいります。

### ◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

## 第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

	評価結果
I - 1 理念・基本方針	
I - 1 - (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I - 1 - (1) - ① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	<b>a</b>
(コメント)	法人・保育所の理念や保育理念に基づく保育方針が明文化され、園の内外に広く理解が深まるようにパンフレットやホームページ・園のしおりに記載されています。年度初めの職員会議では、事業計画等を基に理念と方針の説明を行い周知を図っています。また、保護者には、新入園児説明会、クラス懇談会等で説明を行っています。

	評価結果
I - 2 経営状況の把握	
I - 2 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I - 2 - (1) - ① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<b>a</b>
(コメント)	施設長は、福祉制度等の研修に積極的に参加し、現状の把握と今後の対応を検討しています。市の保育申請状況等により待機児童を含む地域の状況を把握し、また、子育て支援事業の参加者から保育ニーズを把握しています。
I - 2 - (1) - ② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	<b>b</b>
(コメント)	法人で行われる月一回の施設長会・主任会などで自園の経営課題の分析と改善内容や課題を明確にして自園の振り返りが行われています。経営状況については、職員会議にて説明しています。

		評価結果
I-3 事業計画の策定		
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
(コメント)	地域の現状、人材、国の制度改革、予算等を踏まえた中長期計画を作成しています。年度末に職員会議等で出された意見を踏えて、見直しが必要かどうか検討しています。	
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
(コメント)	中長期計画を踏まえて事業計画が作成されています。施設・整備の計画は、中長期計画に盛り込んだ上で事業計画に反映しています。	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
(コメント)	事業計画は、職員会議等での職員からの意見を踏まえて作成されています。事例として、紙おむつから布おむつに変える、園庭にトイレを設置する等を2014年6月12日の職員会議録で確認しました。	
I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
(コメント)	事業計画について、保護者には入園説明会や年度初めの親子親睦会にて資料を基に説明しています。	

		評価結果
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
(コメント)	保育・保育サービスについては、定期的に職員会議・クラス会議・チーフ会議にて見直しが行われています。職員には、人事評価を取り入れ、年2回の個別面接が行われています。第三者評価は平成21年度に受審し、今回は2回目となっています。	
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
(コメント)	施設長や主任が、中心になって、職員会議で課題や改善策について話合われています。今後、評価結果を分析した結果やそれに基づく課題について文書化し、職員間で課題の共有化が図られることが望まれます。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

		評価結果
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ		
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	<b>b</b>
(コメント)	施設長の役割と責任については、職務文掌にて文書化され、職員会議にて職員に表明しています。有事（災害・事故等）における役割と責任についても文書化しています。	
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<b>b</b>
(コメント)	施設長が中心となり、遵守すべき法令を職員に周知し、具体的な取り組みを行うことが望まれます。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	<b>b</b>
(コメント)	施設長は、保育の質の向上に向けて園内研修を行っています。	
Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	<b>b</b>
(コメント)	施設長は、経営改善の内容を把握した上で、職員の働きやすい環境作りに努力しています。	

		評価結果
II-2 福祉人材の確保・育成		
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<b>b</b>
(コメント)	施設長は、就職フェアに参加したりホームページに求人情報を掲載するなど、必要な人材確保に取り組んでいます。人材確保や育成について、具体的な計画を作成し、計画に基づいて実施することが望まれます。	
II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	<b>b</b>
(コメント)	法人で策定された人事評価を取り入れ、年2回の職員との個別懇談を行い、個々の課題等について話し合い、以降の業務に繋げています。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	<b>b</b>
(コメント)	施設長は、職員の有給休暇の取得率や時間外労働状況、疾病状況等を常に把握しています。職員との個別懇談を行い、意向や聴取や相談を受けています。福利厚生として民間の福利厚生事業に加入しています。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	<b>a</b>
(コメント)	人事評価システムを導入し、自己評価表や面談にて職員一人ひとりの能力を把握した上で、保育が行えるように努力しています。	
II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<b>b</b>
(コメント)	中長期計画・事業計画に組織が求める基本的姿勢や意職、及び職員に求める専門性について記載しています。	
II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	<b>b</b>
(コメント)	職員一人ひとりの課題を明確にして研修に参加し、研修後は、研修報告書を作成しています。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	<b>b</b>
(コメント)	実習生の受け入れの意識、方針はマニュアルに明文化しています。実習生が計画的に学べるようにプログラムを用意し実習前にオリエンテーションを実施しています。養成校との意見交換もその都度行っています。	

		評価結果
II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	<b>b</b>
(コメント)	ホームページやパンフレット、年1回の広報誌（あけぼのコンパス）の配布を通して地域に情報提供しています。	
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	<b>b</b>
(コメント)	法人本部の事務長と施設長が定期的に事務・経理関係の確認をして、必要に応じて会計士の助言を受けています。	

		評価結果
II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	<b>a</b>
(コメント)	把握した子育てニーズに基づいて子育て支援活動（公園保育・特別DAY・園庭開放）を行っています。活動ごとに評価反省を行い、次年度に繋げています。	
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	<b>a</b>
(コメント)	ボランティアについては、その意義や方針をマニュアルに明記し、そのマニュアルに従って受け入れています。学校教育への協力については、地域の十三中学校の職場体験で5名を受け入れました。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	<b>a</b>
(コメント)	地域福祉ネットワーク会議等において関係機関と定期的に情報交換を行っています。虐待や要保護児童の対応については、家庭児童相談室や子ども家庭センターと連携をとりながら対応しています。	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	<b>b</b>
(コメント)	園庭開放や公園保育等を行い、地域の方々が参加しています。また、地域の乳幼児の保護者に授乳やおむつ交換が可能なスペース、乳幼児の遊び場を提供する「赤ちゃんの駅」事業にも取り組んでいます。可能な限り一時保育も受け入れています。	
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	<b>b</b>
(コメント)	地域子育て支援の事業として、年4回地域の親子を対象に造形遊びを行い、それぞれの参加者の育児相談にも対応しています。	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重し保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
(コメント)	一人ひとりの子どもを尊重した保育については、保育マニュアル等に示され、職員周知しています。保護者にも保育園の取り組みや子どもの様子を通して懇談会等で人権について説明しています。	
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	b
(コメント)	子ども・保護者のプライバシー保護については、保育マニュアル等に明示され、職員会議の際に学習会を行い、周知しています。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
(コメント)	パンフレットやホームページ等において、保育園の内容を詳しく紹介しています。	
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
(コメント)	入園前の新入園児説明会において、保育内容や料金等について詳しく説明しています。保護者が同意した場合は、同意書を提出してもらっています。	
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c
(コメント)	保育の継続性に配慮して、卒園・転園についての引き継ぎ文書及び手順を定めることが望まれます。卒園・転園後の相談については、受け付け窓口は、施設長、主任が行い、新入園児説明会で説明しています。保育園利用終了後も相談できることについて文書化し、配付することが求められます。	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
(コメント)	年2回の保護者会主催の親睦会に参加し、保育の取り組みについて説明しています。また、年2回の個人懇談を行い、保護者のニーズ調査を行っています。把握した保護者の意向については職員会議等で話し合い、改善策を検討し実行しています。	

		評価結果
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
(コメント)	苦情解決の仕組みについては、園のしおりに記載し、玄関にはポスターの掲示や意見箱も設置しています。意見の対応策については、個別に周知するとともに、申し出た保護者に配慮したうえで、掲示やおたよりにて他の保護者に公表しています。	
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
(コメント)	意見箱の設置や苦情解決に関する事柄を入園のしおりに記載し、入園の際には、口頭にて説明しています。	
Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
(コメント)	保護者の意見を把握するために行事の感想や懇談会の事前アンケートを行っています。意見等については、速やかに検討し、回答できるように努めています。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
(コメント)	子どもの安全を脅かす事例（ヒヤリハット）の収集を行い、その結果を会議等にて職員に周知しています。施設点検を月に一度行い、また法人本部による点検も定期的に行って安全確保・事故防止に努めています。	
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	感染症が発生した場合、職員会議等で報告を行い、情報の共有化を図っています。感染症についての情報や注意喚起は園内掲示で保護者に知らせています。感染症のマニュアルを定期的に見直すことが望まれます。	
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
(コメント)	避難訓練を毎月行い、年に一度消防署の立会のもとで総合訓練が行われています。災害に備えての備蓄をしていますが、備蓄リストの見直しが望まれます。	

		評価結果
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が実施されている。	<b>b</b>
(コメント)	標準的な実施方法については、保育マニュアルに記載されています。3月末に新規採用職員に対して主任や看護師が研修を行っています。今後は、標準的な実施方法に基づいて実施されているかどうか確認する仕組みの構築が望まれます。	
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<b>b</b>
(コメント)	月1回のクラス打ち合わせ時に、担当者より議案を上げて、その事項について見直し検討が行われています。保育の質の向上のために、職員が共通意識を持ちながら、PDCA{Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)}サイクルの中で指導計画の状況を踏まえて検討することが望まれます。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	<b>b</b>
(コメント)	指導計画作成にあたっては、一人ひとりの子どもの発達状況に合わせて、様々な職種がアセスメントを行い、協議し作成しています。保護者の意向把握は行われていますが、今後はその手順について定め指導計画が適切に作成されることが望まれます。	
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	<b>b</b>
(コメント)	指導計画の見直しにあたっては、関係職員にその意図や見直した内容について口頭で周知し保育が行われています。指導計画の見直しについて手順を定め、保育の質の向上のために組織的な仕組みを構築していくことが望まれます。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	<b>b</b>
(コメント)	指導計画の記入方法については、書き方に差異が出ないように記入例を配付するなど工夫しています。また月1回の職員会議において子どもに関する情報について共有しています。一人ひとりの子どもの保育の実施状況や子どもにかかわる日々の情報について適切に記録し、職員間で情報共有することが望まれます。	
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	<b>a</b>
(コメント)	文書管理規程に子どもの記録に関する規程が定められています。職員には4月の職員会議において個人情報の管理について研修を行っています。また、保護者には入園前にプリントを配付し説明を行ない、同意書を提出してもらっています。	

## 児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育所保育の基本		
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	b
(コメント)	保育課程は施設長、主任やクラスチーフなどの職員が中心となり、作成されています。今後は、一部の職員だけではなく、職員全員が参画し編成することが望まれます。	
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b
(コメント)	SIDSの危険性や予防策についてマニュアルをもとに看護師が中心となり職員研修が行われています。乳児保育に関して法人内全施設合同での研修や、園内研修など全職員が学びを深める機会を設けています。	
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
(コメント)	毎朝の子どもの体調については保護者より口頭または連絡帳を用いて聞き取り確認したり、日中は看護師が子どもの体調を観察するなど日々保健的配慮が行われています。また、保育者が子どもの意欲や気持ちを大切にしながら関わり保育することができるように全職員で意識統一が行われています。保護者には子どもの育ちについて担当保育士が連絡帳や口頭で伝えたり、また保護者からの相談に乗るなど家庭と連携しています。	
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	非該当
(コメント)		
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	非該当
(コメント)	小学校との直接の関わりはありませんが、校区の幼保小連絡会議に参加するなど交流を行っています。	

		評価結果
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	子どもが心地よく過ごすことができるように室温や湿度が適度に保たれ、保育室も清潔に清掃消毒が行われています。また、子ども達が遊びや食事など落ち着いて過ごすことができるように、保育室はパーテーションなどで仕切られています。手洗い場トイレなどもマットを敷くなど安全面も配慮されています。	
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
(コメント)	保育マニュアルをもとに、職員が一人ひとりの子どもの成長発達に合わせた援助ができるように、子どもの生活導線を考えながら生活に必要なものを各所に置くなど環境が整えられています。	
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	玩具や遊具などは、子どもの成長発達に合わせたものを用意し、子どもが自分で取り出して遊びやすいように環境が工夫されています。乳児の園なので当番活動の取組はありませんが、保育士のお手伝いなどを楽しみながら行っています。	
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	園庭には季節ごとに実が生る果樹や花が咲く木々が植えられていたり、飼育を行うなど子どもが身近で動植物と接する事ができるように環境が整えられています。また、園庭開放や近隣公園に散歩に行くなど、地域の方とふれあい交流する機会があります。	
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	絵本の読み聞かせを行ったり、子どもに話しかける時には丁寧に言葉がけしたり、遊びや活動の中で様々な話し言葉に触れることができるように環境が整えられています。また、子どもの年齢発達に合わせて制作したり、手作り楽器（マラカスや音の鳴るおもちゃ）を音楽に合わせて鳴らしたり、表現あそびが行われています。	
A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b
(コメント)	年2回（6月・9月）保育士が自己評価を行ない、それをもとに施設長や主任と面談を行っています。今後は自らの保育を振り返り課題を持ち、次の保育に活かせるように記録し、それをもとに職員間での話し合いを行うことで互いの意識の向上につなげていくことが望まれます。	

		評価結果
A-2 子どもの生活と発達		
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
(コメント)	保育マニュアルに記載されている子どもへのかかわり方について全職員で学び、職員間で意識統一し保育が行われています。一人ひとりの家庭状況や生活リズムについては担当者が把握しそれをもとに個人指導計画が作成されています。	
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b
(コメント)	障がいのある子どもについて一人ひとりの個性に配慮しながら個別指導計画を作成し、それをもとに保育が行われています。障がい児保育に携わる保育士は障がい児保育に関する研修（9月）を受けています。障がい児保育について定期的に職員会議で話し合い、職員間で情報共有しています。	
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a
(コメント)	長時間保育を利用する子どもが、ゆったりと過ごすことができるように環境が整えられています。子どもの様子については引継ぎノートを用いて職員間で引継ぎされています。	
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
(コメント)	子どもたちの予防接種の状況については予防接種アンケートにより把握しています。看護師を中心に健康管理マニュアルや保健計画を作成し、それをもとに子どもの健康管理が行われています。毎日、看護師が巡回を行い子どもの健康状態について把握しており、子どもの様子については職員間で情報共有しています。	
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
(コメント)	育児担当制を行い、落ち着いた環境の中で子どもが安心して食事出来るようにしています。育てた野菜を収穫し、その野菜を子どもたちの目の前で調理して食べるなど、子どもたちが食事を楽しめるように工夫されています。	
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
(コメント)	職員は、子ども一人ひとりの食事の様子について把握し、個人指導計画に記載しています。食器は子どもの年齢発達にあった園独自で考えられた陶器を使用しています。栄養士や調理員は昼食の際子どもの様子を見に行ったり、クッキング保育の時に子どもと触れ合う機会があります。	
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
(コメント)	内科健診（毎月）と歯科健診（年2回）の健診結果については健診表で保護者に伝えていきます。また、個人記録に記載し、職員にも周知しています。歯科健診後には歯科衛生士による歯磨き指導をするなど健診結果を保健計画に反映しています。	

		評価結果
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
(コメント)	アレルギー疾患を持つ子どもは、保護者より年2回（3月・9月）アレルギーチェックリスト、診断書の更新、提出をしてもらい、医師の指示のもと食事の提供が行われています。また、アレルギー児への対応については全職員で共通意識を持ち対応しています。	
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	b
(コメント)	職員会議において衛生管理について職員間で話し合ったり、看護師による衛生や保健に関する指導が行われています。また、施設長、主任、看護師で衛生管理に関する検討会が定期的に行われています。衛生管理マニュアルは作成されていますが、職員へ周知し研修を行うことが望まれます。	

		評価結果
A-3 保護者に対する支援		
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
(コメント)	食育計画に基づき、食育が行われています。家庭での食事の様子は、連絡帳により把握し、園での食事については写真を掲示し、保護者が園での食事に関心が持てるようにしています。また、保育参加や会食会など保護者が試食できる機会を設けています。	
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
(コメント)	保護者からの個別の相談は育児相談記録に記録されています。また、家庭状況や保護者との対応内容については各クラスの伝達ノートや個人指導計画に記入し、保護者と連携しながら保育が行えるようにしています。	
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a
(コメント)	入園説明会や進級時の全体会において保育の特徴や大切にしていることを保護者に伝えています。また、保育の意図や子どもの発達について保護者と共通理解を得るための機会として、年2回のクラス懇談会や、保育参加が行われています。	
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a
(コメント)	子どもの心身の状態や保護者の養育状態に常に配慮し、虐待の早期発見に努めています。虐待防止マニュアルに基づき年2回（4月・11月）職員研修を行っています。	

		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
(コメント)	子どもへのかかわり方については園内研修を定期的に行っています。体罰の禁止についてはサービス規程に明記しています。	

## 利用者(保護者)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

調査対象者	あけぼのベビーセンターを利用中の保護者
調査対象者数	46 世帯
調査方法	アンケート調査

### 利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)

あけぼのベビーセンターを現在利用している保護者46世帯を対象に調査を行いました。送迎の時間を利用して保育園から調査票を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送する形をとり、27世帯から回答がありました。(回答率58.7%)

特に満足度の高い項目として

「保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか」

「保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか」

「保育園の事業計画について、園から説明がありましたか」

「入園後も、保育園やクラスの様子などについて「園だより」、「クラスだより」等を通じて、判りやすく伝えられていますか」

が100%の満足度、

「園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか」

「献立表やサンプル表示などで、毎日給食の内容がわかるようになっていますか」

「給食のメニューは、充実していますか」

「送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか」

「懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか」

が90%を超える満足度となっています。

## 福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

### ①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

### ②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

### ③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等